

2024年11月 イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

人間関係が改善されれば辞めた職場に戻りたいと思える人が44.3%

株式会社アイデム
東日本事業本部 データリサーチチーム

調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2024/11/01～2024/11/30の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- ▶2024/11/02～2024/12/05（34日間）

調査方法

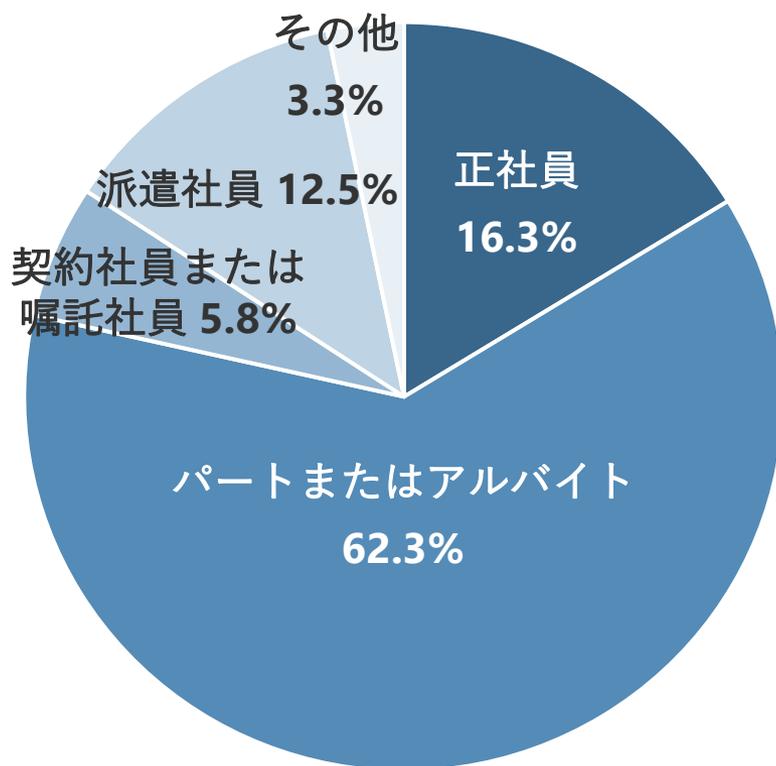
- ▶インターネットリサーチ

有効回答数

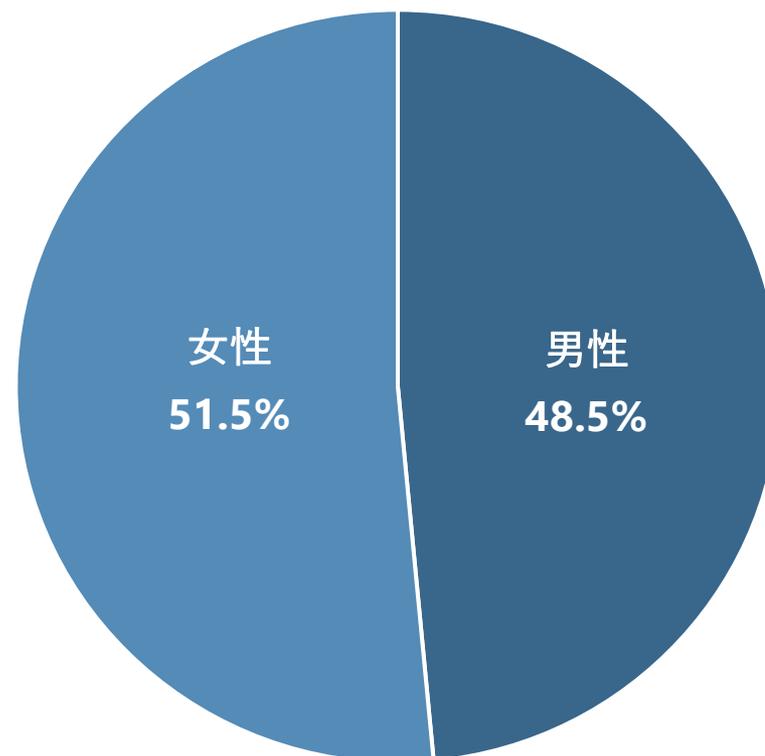
- ▶400件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態



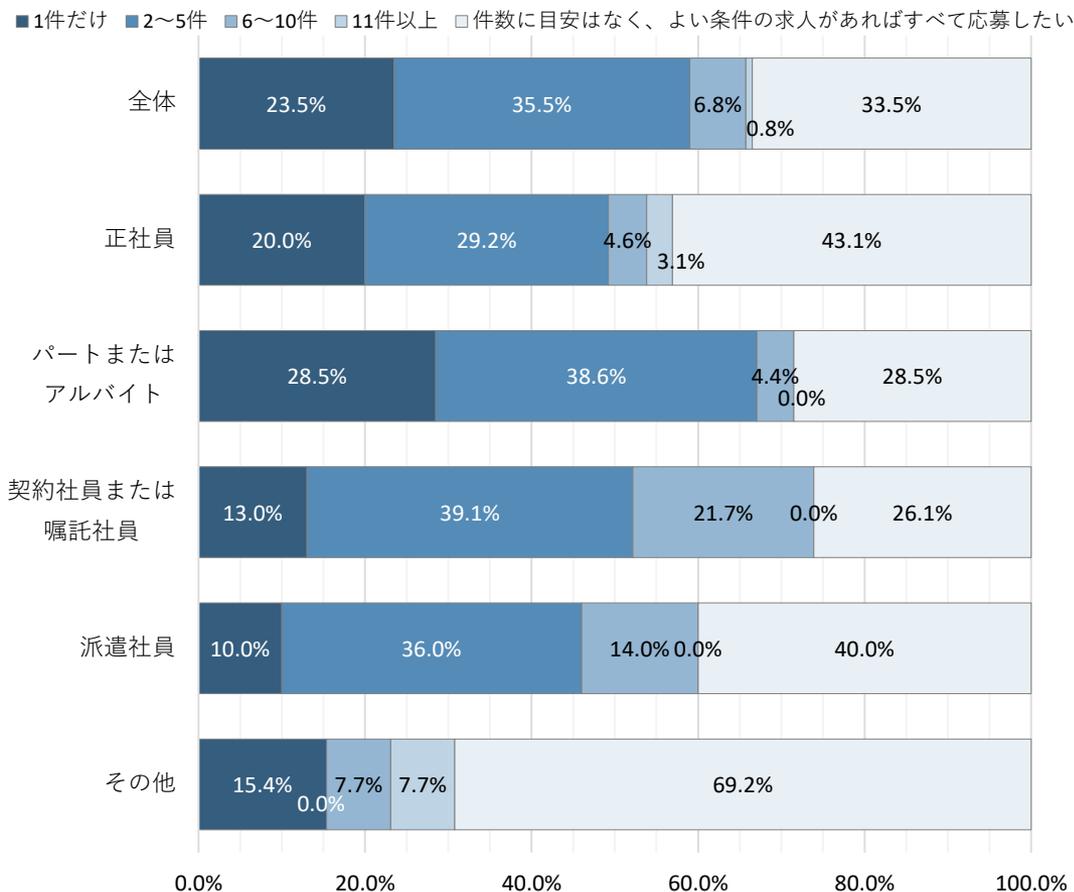
性別



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「2～5件」が最も多く35.5%、次いで「件数に目安はなく、よい条件があればすべて応募したい」が33.5%、「1件だけ」が23.5%、「6～10件」が6.8%、「11件以上」が0.8%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は全体の約8割となった。

希望雇用形態別にみると、「パートまたはアルバイト」では「2～5件」応募するとした割合が38.6%、「1件だけ」が28.5%となった。応募件数に目安を設けて活動している人が多いようだ。また、「正社員」では「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」が43.1%だった。

今回の求職活動期間の中で、
およそ何件ほど応募しようと思いますか。



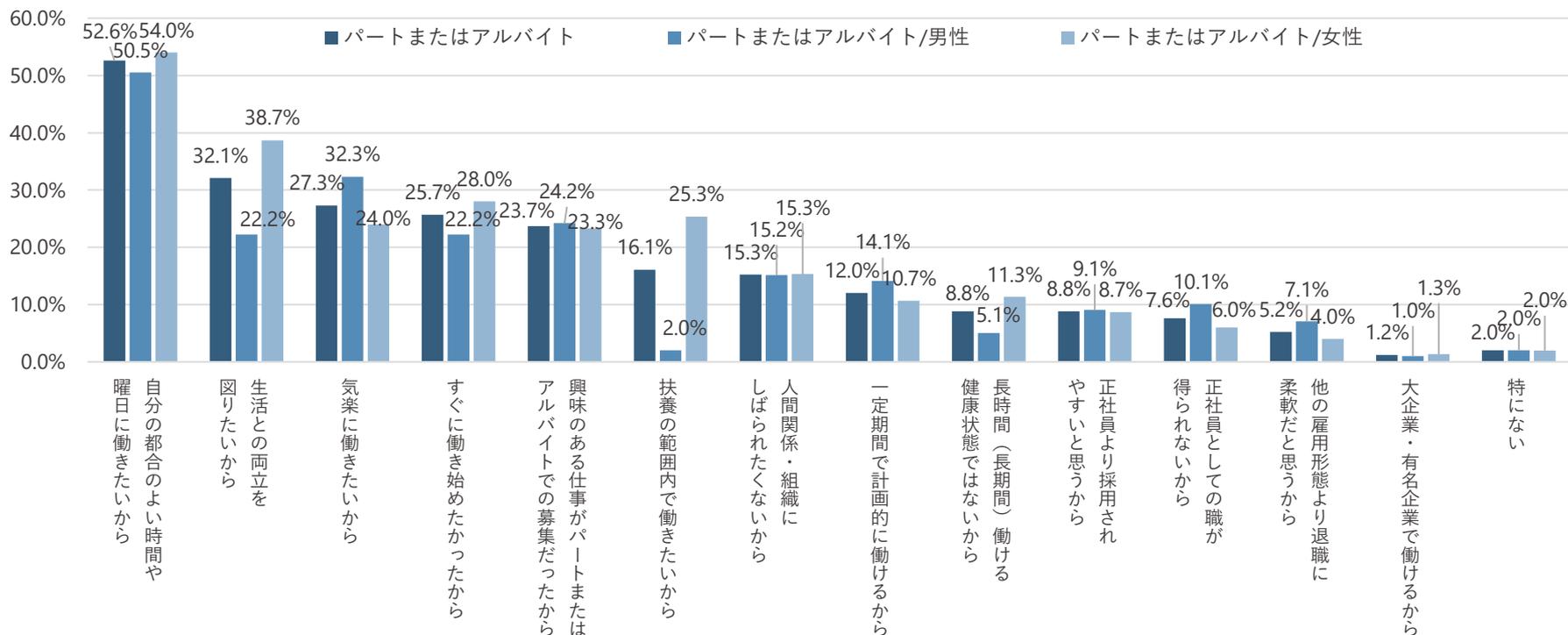
パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で52.6%、次いで「生活との両立を図りたいから」が32.1%、「気楽に働きたいから」が27.3%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「気楽に働きたいから」が8.3pt高くなった。自分の自由な時間を確保したい人や、緊張や責任を強いられない環境での就業を望む人の割合が、女性よりも高いようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が23.3pt、「生活との両立を図りたいから」が16.5pt高くなった。ほかの活動との両立のために仕事を調整したり、収入に目安を設けて仕事をしたい人が男性よりも多いと考えられる。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

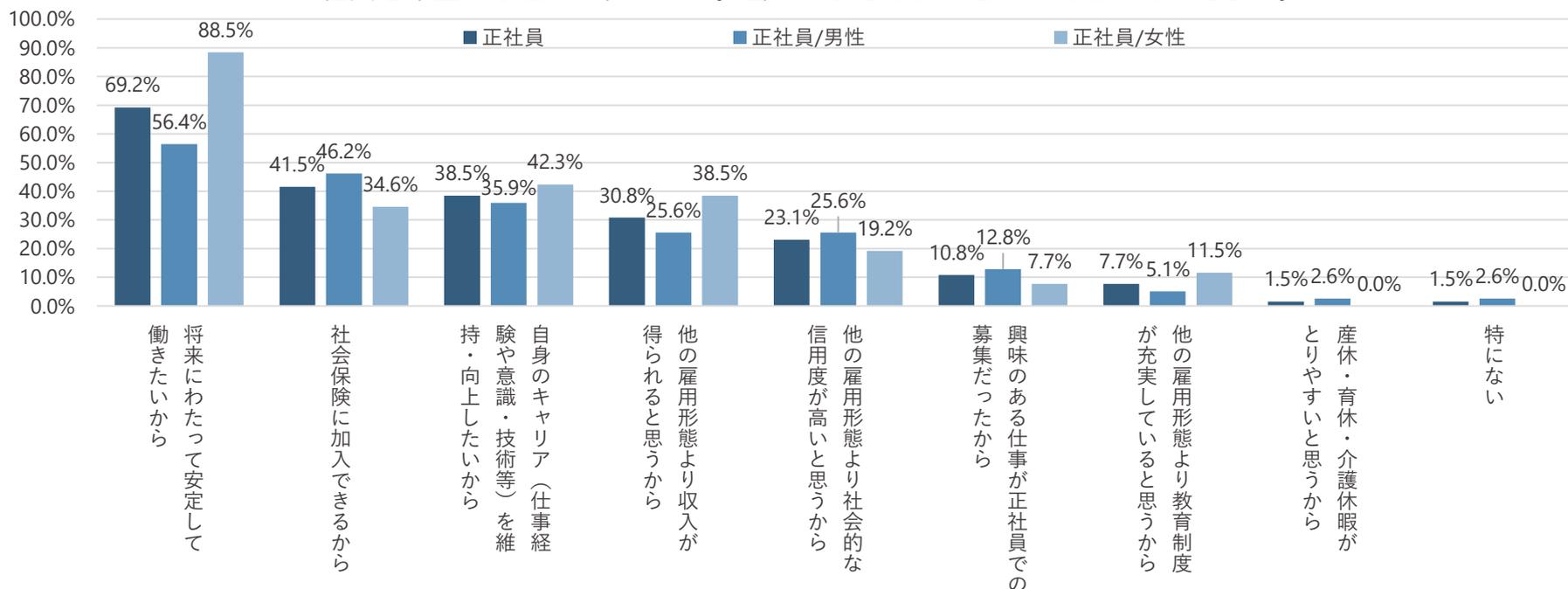


イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」が69.2%、次いで「社会保険に加入できるから」が41.5%、「自身のキャリア（仕事経験や意識・技術等）を維持・向上したいから」が38.5%となっている。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「社会保険に加入できるから」が11.6pt、「他の雇用形態より社会的な信用度が高いと思うから」が6.4pt、「興味のある仕事为正社員での募集だったから」が5.1pt高くなった。正社員での就職で、保障や信用が獲得できると考える人が女性より高い割合となった。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「将来にわたって安定して働きたいから」が32.1pt、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が12.9pt、「自身のキャリアを維持・向上したいから」が6.4pt高くなった。とくに安定に重きを置いている割合が高く、女性正社員希望者の9割弱は継続した雇用を意識して正社員を希望しているようだ。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



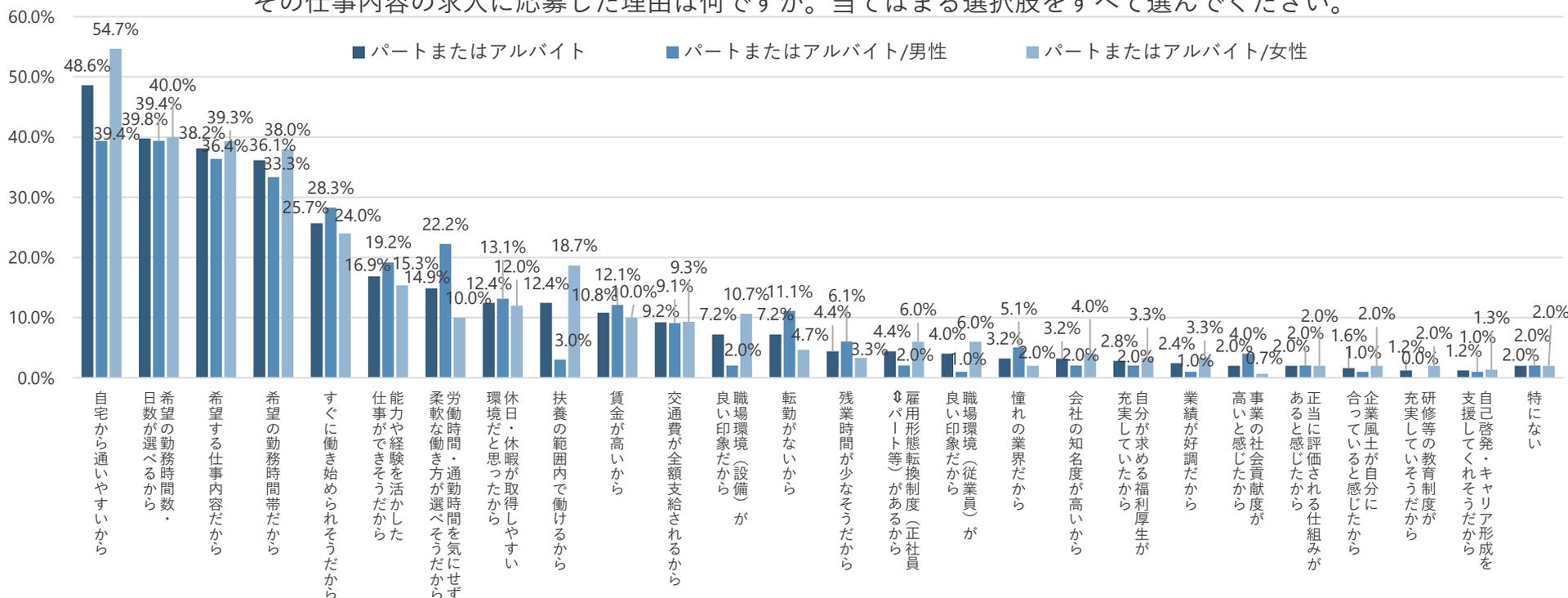
求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で48.6%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が39.8%、「希望する仕事内容だから」が38.2%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「労働時間・通勤時間を気にせず柔軟な働き方が選べそうだから」が12.2pt、「転勤がないから」が6.4pt高くなった。自身の条件に柔軟に合わせて働ける職場を探している割合が女性より高かった。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働けるから」が15.7pt、「自宅から通いやすいから」が15.3pt、「職場環境（設備）が良い印象だから」が8.7pt高くなった。収入はもちろん、立地や設備も気にしながら、職場探しをしている人が多いようだ。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



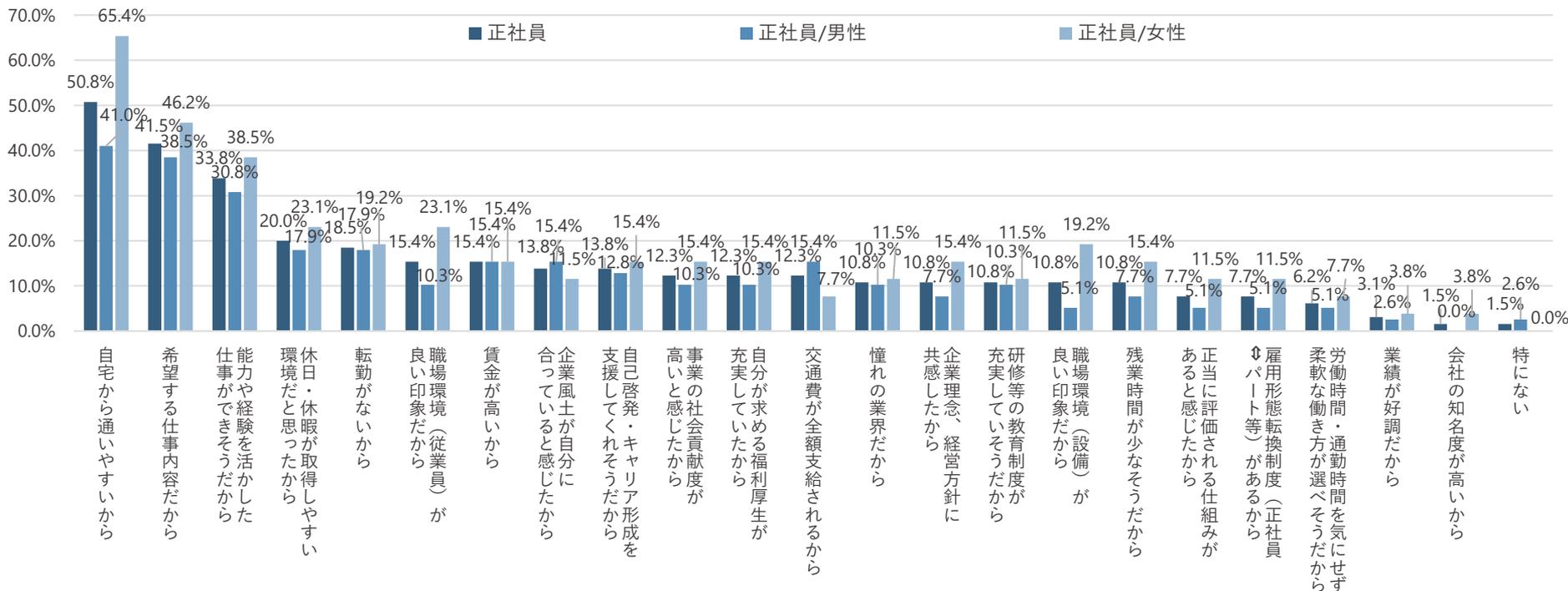
求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。多かったのは「自宅から通いやすいから」が50.8%、「希望する仕事内容だから」が41.5%、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が33.8%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「交通費が全額支給されるから」が7.7pt高くなった。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「自宅から通いやすいから」が24.4pt、「職場環境（設備）が良い印象だから」が14.1pt、「職場環境（従業員）が良い印象だから」が12.8pt高くなった。職場環境の良さを重視して選んでいる人が、男性よりも高い割合となった。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

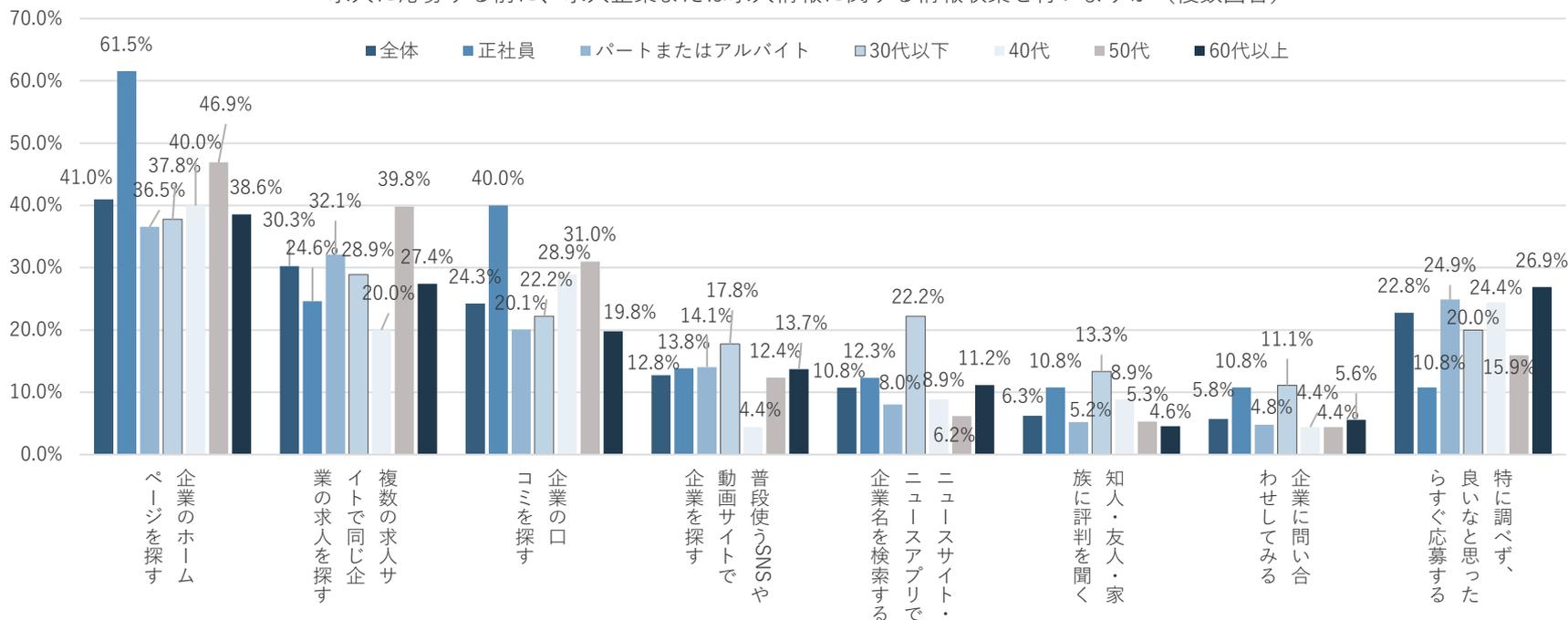


イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、求人に応募する前に求人企業または求人情報に関する情報収集をするかどうか聞いた（複数回答）。全体では「企業のホームページを探す」が41.0%で最多、次いで「複数の求人サイトで同じ企業の求人を探す」が30.3%、「企業の口コミを探す」が24.3%となった。「特に調べず、いいなと思ったらすぐ応募する」人は22.8%で、8割弱の人は事前に何らかの情報収集をするようだ。

希望の雇用形態別にみると、「正社員」を希望する人では「企業のホームページを探す」が61.5%と半数以上となっている。「企業の口コミを探す」という意見も多かった（40.0%）。一方「パートまたはアルバイト」を希望する人では、「特に調べず、いいなと思ったらすぐ応募する」が24.9%で、4人に1人は情報収集する前に応募にうつるようだ。

年代別にみると、「30代以下」では「ニュースサイト・ニュースアプリで企業名を検索する」が22.2%で、直近の報道やリリース等を気にしているようだ。「60代以上」では「特に調べず、いいなと思ったらすぐ応募する」が26.9%で、応募まで早い人が多かった。

求人に応募する前に、求人企業または求人情報に関する情報収集を行いますか（複数回答）

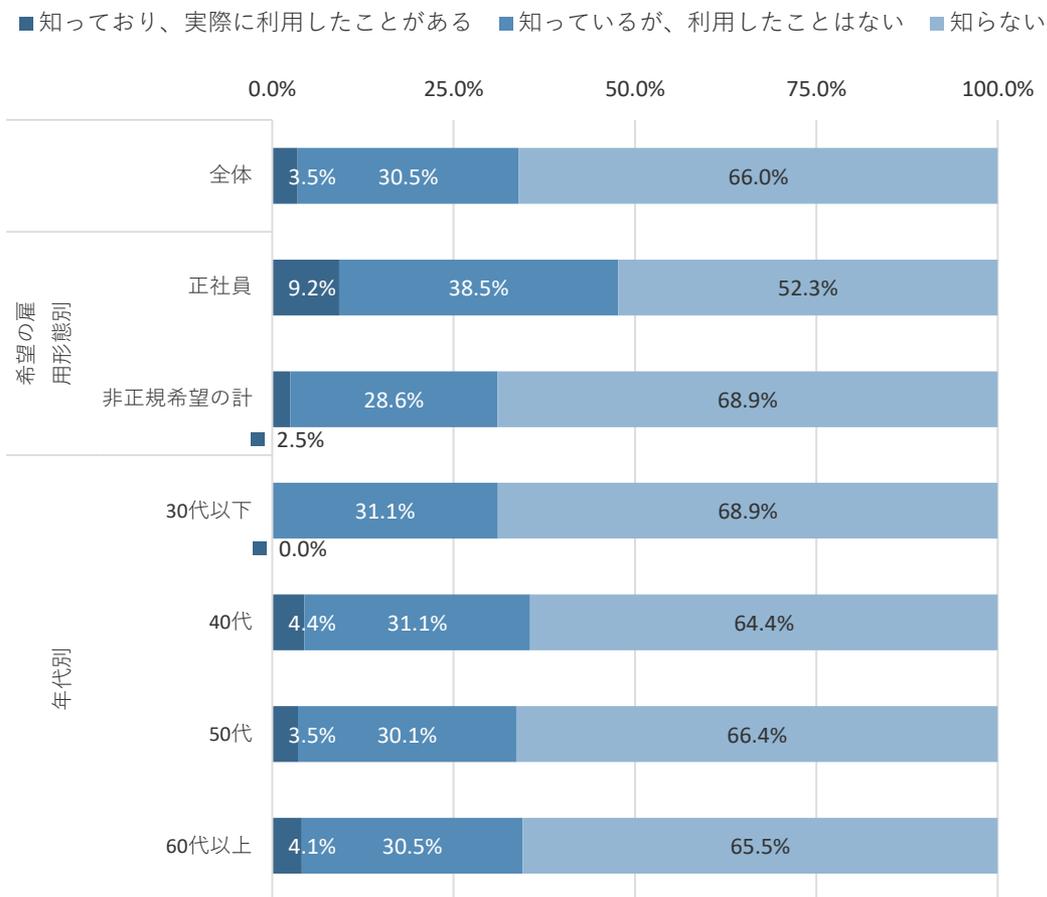


イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、「アルムナイ」「カムバック制度」「出戻り制度」といった、一度退職した従業員を再度採用する制度に関して知っているかをきいた。全体では、「知っており、実際に利用したことがある」は3.5%、「知っているが、利用したことはない」は30.5%、「知らない」は66.0%となった。近年は耳にする機会も増えたが、全体での認知は高くなく、利用したことがある人も少ないようだ。

希望の雇用形態別にみると、「正社員」では「知っており、実際に利用したことがある」が9.2%、「知っているが、利用したことはない」が38.5%となり、「非正規希望の計（パート・アルバイト、契約社員・嘱託社員、派遣社員希望の計）」と比べて利用率も認知も高かった。

年代別にみると、知っている割合は大きな差はなかったが、「30代以下」では年齢が若いこともあってか「知っており、実際に利用したことがある」は該当者がいなかった。

「アルムナイ」「カムバック制度」「出戻り制度」などと呼ばれている制度をご存じですか？



退職しても戻りたいと思う職場について

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、過去働いていた職場に「戻って働きたい」と思うには何が変わっているとよいかをきいた（複数回答）。全体では、「人間関係」が44.3%、次いで「賃金」が30.0%、「労働時間」が21.8%となった。「人間関係」は離職の理由でもたびたび上位になる項目である。企業側は、これら退職に至った理由を改善・解決していくことで、アルムナイ採用を促進できるかもしれない。一方で「戻りたいとは思わない」は18.3%となり、約2割は退職した企業の条件が変わっても制度を利用することはなさそうだ。

希望の雇用形態別にみると、「正社員」では「非正規希望の計」よりも「職場の設備」が12.5pt、「企業風土」が11.6pt、「業務量」が9.7pt高かった。設備を見直すことにより、業務負担が軽くなる見込みもあるので、企業は今働く人のためにも一考してもよさそうだ。

年代別にみると、「40代」「50代」の半数が「人間関係」を選択した。上司や部下との調整が求められる年代でもあるため、負担が大きくなってしまいうこともありそうだ。「60代以上」では「知識や経験が活かせる仕事内容」が25.9%となり、他の年代と差がついた。定年再雇用に該当する人も多いので、現役世代だけでなくシニア層においてもアルムナイ採用のニーズがありそうだ。

あなたがこれまでに勤めて、自らの意思で辞めた企業のうち、最も良い印象の会社を思い浮かべてください。

その会社で「戻って働きたい」と思うには、何が変わっているとよいでしょうか。

